

登録コード	ASN01500	開講年度	2026				
授業科目	環境共生学特別演習					担当教員	三木 敦朗
英文授業名	Advanced Seminar for Environmental Symbiosis Science					副担当	福山 泰治郎・大窪 久美子・上原 三知
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生
講義室			授業形態	演習	備考	担当教員名：守口・池田・大窪・鈴木（純）・安江・小林（元）・荒瀬・細尾・上原・内川・小野・城田・福山・三木・上村・坂	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ						
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	環境共生学分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を身につける。
授業の概要	修士論文の研究計画および進捗状況について発表と討論を行います。これを通して、研究の正しい価値感と、研究企画力、研究推進力、調査力、プレゼンテーション能力、討論能力等を備えた研究者を育てるための教育を実施します。 なお、本科目は講義室等に集合して開講する科目ではなく、各指導教員を通じて学術的活動を評価する科目です。進学後、指導教員と相談のうえ、修士課程在籍中の研究・学会発表等の活動計画を早めに立てるようにしてください。						
Contents:	This seminar includes development and evaluation of the ability to present and discuss your own research theme.						
授業計画	1. 修士論文の研究計画および進捗状況についての発表の準備、発表、討論 2. 学会発表の準備、発表、討論 これらの過程と結果を踏まえて、研究企画力、研究推進力、調査力、プレゼンテーション能力、討論能力等の現状認識と改善を行います。						
成績評価の方法	研究発表の準備状況、発表態度、発表内容、討論能力等、関連学会での表彰実績等を総合的に各指導教員の評価を持って成績を判定します。各研究室での研究への取組成果も評価の対象とします。						
成績評価の基準	『（1）授業の達成目標』に掲げた5項目の達成度に応じて以下のように評価します。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準から見てかなり上にある 良：授業の達成目標の水準から見てやや上にある 可：授業の達成目標の水準から見て水準にある 不可：授業の達成目標の水準の下にある						
事前事後学習の内容	事前学習：自身の研究テーマに関係する最新の文献を入手し、その内容を理解するとともに研究動向を随時確認すること。また、研究手法について図書館の書籍等を参照するなど、あらかじめ理解するよう努めること。 事後学習：修士論文の執筆のため、研究で得られた結果は日ごろから随時整理し、他論文も参照しながら考察を行うこと。						
履修上の注意	必ず1年次に履修するようにしてください。						
質問,相談への対応	当該年度の大学院教務委員、前年度大学院教務委員がメールにて質問を受け付けます。 (担当教員) 三木敦朗 (mikia26(at)shinshu-u.ac.jp) (副担当教員) 福山泰治郎 (tjrfkym(at)shinshu-u.ac.jp)						
学生へのメッセージ	総合的な視野を持つことが重要です。関連する情報を自ら収集し、取り組んでください。						
【教科書】	特になし。必要に応じて資料を配付します。						
【参考書】	特になし。						